

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

当協会の経営支援の取組として、特に経営支援が必要と考えられた事業者に対して外部専門家を派遣した。

専門家派遣事業を実施した先について、以下の指標を検証した。

- 1 アウトカム指標：売上高増加率増加企業割合、営業利益率増加企業割合
目 標 値：2つの指標のいずれか一方を達成した企業の割合が 50%以上
（売上高増加率増加企業割合：令和 3 年度中に経営支援を実施した企業のうち、その企業の令和 3 年度決算と令和 5 年度決算の売上高の変化率が、零より大きい企業の割合）
（営業利益率増加企業割合：令和 3 年度中に経営支援を実施した企業のうち、その企業の令和 3 年度決算と令和 5 年度決算の営業利益の変化率が、零より大きい企業の割合）

達成状況：69.2%《目標値 50.0%以上》

自己評価：今回の検証結果から、令和 3 年度に経営支援を実施した企業のうち、約 7 割弱の企業が売上高・営業利益の指標で改善を示しており、設定した目標値を上回る結果となった。

当協会が実施している経営支援が一定の効果を上げているものと評価している。

一方で目標値に届かなかった企業が 3 割程度存在することから、目標達成企業と未達成企業の間で相違点等があるかどうか分析を進め、今後の経営支援の改善につなげていく方針。

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

2 アウトカム指標：生存（企業）率比較

目 標 値：経営支援実施企業の生存率が大きいこと

（令和 3 年度期首時点で返済緩和となっている企業群のうち、平成 30 年度から令和 2 年度までの 3 か年で経営支援を受けた企業群と、受けていない企業群に分け、それぞれ令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 か年で代位弁済に至らなかった企業の割合を比較）

達成状況：82.2%《目標値 87.8%超》

自己評価：今回の検証では、経営支援を実施した企業群の生存率は 82.2%であり、経営支援を受けていない企業群を下回る結果となった。

経営支援先で代位弁済に至った企業に何らかの特徴（予兆）があったかどうか分析を進め、今後の経営支援の改善に繋げていく方針。